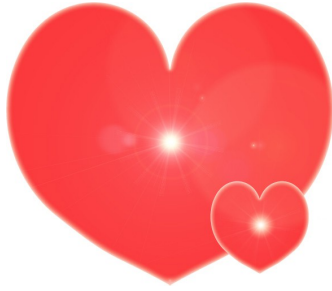


アセンション日記



小学生の頃から環境問題に興味があり、自然の中で生きることに関心していました。

人と馴染むことは得意ではありませんでしたが
自然や音楽等の美しいものと共鳴することは得意であったと思います。

「人として自分に何ができるのか。」

それを真剣に考えたきっかけは、小学生の頃からあった、道徳の授業でした。

特に強い衝撃を受けたのは、中学生の頃
「世界で一番寿命の短い国 シエラレオネの国境なき医師団」
という本の一部を抜粋して学んだ時でした。

日本とはまったく違う環境、生活を知り、
人の生き方とは？自分に出来ることは？と、考えるきっかけとなりました。

高校へ入学しても、何かが違う気がして、自分の進路を探し続けていました。

ここでも道徳の授業があったり、本を読む時間が設けられていたり
人として、様々なことを吸収できた期間でした。

短大生の頃は、様々な文化に触れる機会に恵まれ、
ヨーロッパの街も緑も美しい都市設計を見たり
日本の四季の美しさや、文化も学ぶことができ、世界が広がりました。
殺風景な世界に徐々に色が付いてきたように感じました。

社会人となり、カメラマンとして働くようになってからは
写真撮影を通じて、子ども達とふれ合う時間が増えて
徐々に人にも馴染むことができるようになりました。

そして2012年、はじめてアセンションという言葉を知りました。

最初はよくわかりませんでしたが、
なんとなくアセンションというものに参加した方が良かったです。

参加した当初は、よくわからないことだらけで
ただ純粋に思ったことをレポートにしていまいしたが
今振り返れば、とても良い学びであったと感じます。

太陽と会話してみたり、自分を透明にしてみたり。
今までやったこともないのに、何か感じるものがあるし
納得の行くまでやりつくす自分を発見しました。
何故こんなにワクワクするのだろうか？とも思いました。

アセンション=人としての進化
それが私の探していた進路だったのだろうかと感じました。
私は人として、成長・進化したかったのだとわかりました。

そのとき「愛」という言葉がスッと降りてきたように感じました。
今までもずっと「愛」に見守られてきたのだと自然と感ずることができました。

「愛」を感じたことで、「愛」の大切さがわかり
自分も「愛」になっていることがわかりました。

すると、自然と人と馴染めなかった自分が消えていきました。
もっと大きな愛になりたいと自然と思いました。

そんな風に自分が変わったことで、人との接し方も変わっていき
どうしたら人と仲良くなれるのか、楽しくお話できるのかを考えるようになりました。

明らかにまわりと自分に変化を感じたのは2013年からで、
カメラマンとして子どもと接する時に
子ども達から笑顔で話かけてもらえるようになった時でした。
自然と子ども達の輪の中に入っていった瞬間だったと思います。

「何事も一緒になって純粋に心から楽しむ」
子ども達から学んだことを実践していた結果であったと思います。
2013年は、そうやって心で感じることを中心にやってきました。

2014年になり、感じることは少しずつ強化されてきたのですが
うまく言葉にできない自分に気付きました。

みんなで人として成長して、美しく素晴らしい地球を創っていくには

発信していくことが重要だと感じていたので
アセンションを伝えていくための知識も必要となりました。
それが今の私の課題です。

気付いて、やっていくうちに
少しずつではありますが手応えは感じています。

仕事をしている時も実践しているのですが
どうしたら子ども達に伝わるのかを考えながら実践していると
子ども達全体と一人一人の特徴を捉えて話している自分に気付きました。

アセンションを伝えていくにも同じで
全体にも一人一人のハートに届く言葉があるのだとわかりました。

2014年の残りの時間は、伝えたい相手と共鳴できるようになるためにも
相手のために今自分が何をできるのかを感じながら
知識も増やししながら、一つ一つのエネルギーを明確にして
愛を発信していこうと思います。

それが地球にいる人が愛になって、美しい愛と共鳴していくためにも
小さいころから気になっていた地球の環境問題のためにも
何か出来るようになる一歩だと思っています。

なる